

KANTOU

かんとう



特集／関東商組第59回通常総会
全原連第45回通常総会
雑がみ利用促進検討委員会の結果報告

夏号

第14回

全国小中学生

作文・ポスター
大募集!

“紙リサイクル” コンテスト2022

テーマ

- ・紙リサイクルに関する活動・体験やアイデア
- ・紙リサイクル活動と持続可能な社会づくり

テーマを選んで書いてみよう

締切 2022年
12月9日(金)
(当日消印有効)

紙リサイクル促進大使
「カミリイ」ちゃん & 「カミリイマ」

紙リサイクルについて

“紙リサイクル”とは、読み終わった新聞や雑誌、使い終わった段ボール、紙パックを回収し、資源に戻して新たな紙の原料に利用することです。

リデュース
Reduce
ごみを少なくする

リサイクル
Recycle
再資源化

リユース
Reuse
再利用

3R

コンテストではリサイクルに注目しているよ



持続可能な社会について

持続可能な社会は健康で恵み豊かな環境を通じ、将来にわたって一人ひとりが幸せを実感できる社会のことです。この社会を実現するために「SDGs」を掲げて、一人ひとり実践することが大切です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs(エスディー・ジーズ)とは

サステナブル Sustainable ▶ 持続可能な
デベロップメント Development ▶ 開発
Goals ▶ 目標



「紙リサイクル」と「持続可能な社会」のつながり

紙リサイクルは資源の有効活用や森林資源の適切な利用につながっており、持続可能な社会に大きく貢献する行動です。

古紙の分別やリサイクルされた製品を使う事など



皆さんの身のまわりの小さな活動が持続可能な社会につながっているよ!

応募者全員に参加賞



紙リサイクルノート
プレゼント!

文部科学大臣賞 学校特別賞/学校奨励賞 を設けています! (各賞受賞者・受賞校には賞状、副賞を差し上げます)

1回1梱包30作品以上ご応募していただける場合に限り、事務局で送料負担いたします。

【申請方法】30作品以上の応募作品がございましたら、学校・教室から事務局に①学校名、②住所、③電話番号、④担当の先生のお名前を明記の上、FAXでご連絡ください。
事務局より発送用伝票(着払い)を送付させていただきます。

お問い合わせ先

〒105-0013 東京都港区浜松町1-23-4 浜松町昭栄ビル4F
『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022』事務局(CISC内)
TEL.03(5777)1322 / FAX.03(3432)4044

紙リサイクルのアニメーションも見てね

〈主催〉公益財団法人古紙再生促進センター
〈後援〉文部科学省 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国市町村教育委員会連合会 全国小中学校環境教育研究会 読売新聞社 全国製紙原料商工組合連合会 日本再生資源事業協同組合連合会 段ボールリサイクル協議会 日本製紙連合会

過去の受賞作品はHPで公開中!

紙リサイクルコンテスト

検索



http://www.prpc.or.jp/activities/public_relations/?id=contest#contest

巻 頭 言

総会が終わり再度理事長に推挙されました。変化が厳しい時代にあってもうひと踏ん張りし、私の経験を活かして力の限り、精魂込めて精一杯難局に立ち向かって行きますので組合員各位には業界活動にご支援とご協力をお願いします。

東京の梅雨入りも早く気候変動の影響によって関東各地で大きな雹が降り農作物被害が出ております。被害にあった方々に頑張ってくださいとエールを送ります。

2年半に及ぶコロナウイルス感染症の影響は我が国の経済市況に低迷を及ぼしています。足元では国際的な物流の停滞や円安によって原油を始めとする資源、原材料費の急騰などに加え輸入価格上昇によるインフレ圧力によって景気の下振れリスクに直面しております。遠いウクライナでは悲惨な戦争が長く続きそうです。皆早い停戦を望んでいますが、ロシアには困ったものです。何とかならないか、苛立ちの毎日です。

中国上海ではコロナウイルスによる都市封鎖が解除になり、経済や船の物流も動き出し徐々に回復に向かうと思えますし、我が国の感染者も下げ止まり傾向になってきております。これから夏に向かいマスク脱着問題が浮上しております。これからはワクチン接種4回目を打ち免疫力を高め、熱中症対策して元気に仕事をしましょう。

5月の32社の在庫を見ますと段ボールの在庫量は8.4%で1ヤード当たり75トンと最低水準の状態にあり、積み置きを入れると無い状態と変わりありませんでした。在庫率だけでみます

「わかっちゃいるけどやめられない」

関東製紙原料直納商工組合
理事長
大久保 信隆

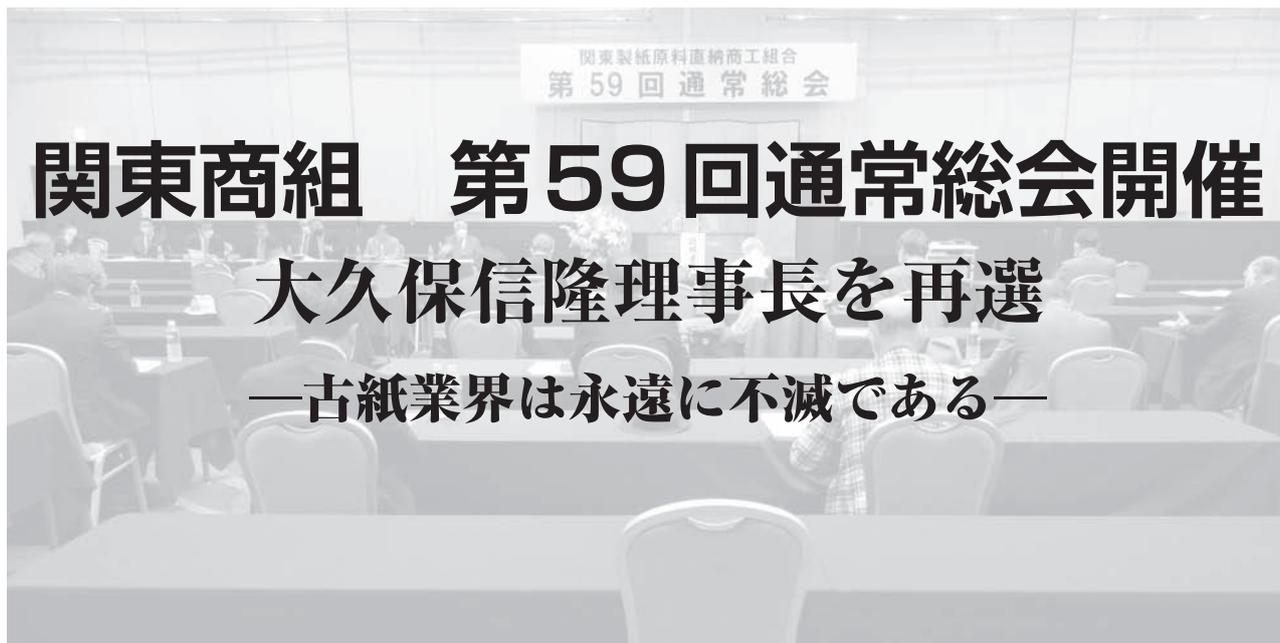
と新聞と雑誌はあるように見えるが量は少なく、3品種でも在庫率は12.1%と極めて少ないため5月27日関東地区委員会において「標準価格の見直しについて」ご返事は如何ですか尋ねたところ「各社各様です」のお返事。

5月の段ボール原紙の輸出は88千トンで製品の在庫は613千トンと作り

すぎなのかメーカーさんが買ってくれるのと輸出古紙の注文が多いので各地で仕入れ問題が散見されるようになりました。販売価格は需給のバランスをよく見ないと駄目です。供給過多では購買者は「王様」です。全体の発生量が減る中、仕入れ競争をしないといけないと皆分かっているのですが植木等のスーダラ節「わかっちゃいるけどやめられない」というようにならないようにしましょう。

今、何故か日本だけがゼロ金利でこのままでは日本経済は世界の流れに押しつぶされるのではないのでしょうか。先の見えない景気で、我々が出来る車間距離は取っていきましょう。それともう一つ回収システムで新聞のクローズシステムが段ボールでも時流というかトレンド傾向がみられます。このことは問題だと思います。古紙は持続的に行う商売です。流行りでやったら結局失敗します。長年に亘り培ってきた伝統ともいえる回収システムは大事です。我々が信用されるよう努力しましょう。

今後も組合員が団結して需給バランスを考えて行くことが、全体の扱ひ量が減る中で、我々の生き残りとして組合員の現場情報力と団結力が一番重要だと思います。暑さに負けず頑張っていきましょう。(2022.6.11 記)



関東商組 第59回通常総会開催

大久保信隆理事長を再選

—古紙業界は永遠に不滅である—

関東製紙原料直納商工組合（以下、関東商組）は令和4年5月25日（水）アートホテル日暮里（荒川区）で第59回通常総会を開催した。総会は梶野隆史・副理事長（梶谷商事）の司会で進行。近藤勝・副理事長（美濃紙業）の開会の辞に続いて大久保信隆・理事長（大久保）が挨拶を述べた。

司会者から組合員総数115名のうち出席71名（委任状出席36名）で組合員総数の過半数の出席を確認できたので通常総会が成立している旨を報告。

続いて藤川達郎・副理事長（藤川紙業）が議長に選任され第1号議案から第6号議案が審議された。



[司会] 梶野隆史・副理事長（梶谷商事）

かんとう No.217 目次

編集人の後記	29	三紙会ツイト	27	新社長紹介	25	三紙会総会開催	23	第38期	20	三紙会定例会報告	17	関東商組理事会報告	13	検討委員会の結果報告	9	雑がみ利用促進	2	全原連	1	第45回通常総会	1	第59回通常総会	1	関東商組	1	巻頭言	1
--------	----	--------	----	-------	----	---------	----	------	----	----------	----	-----------	----	------------	---	---------	---	-----	---	----------	---	----------	---	------	---	-----	---



表紙写真

京都の東本願寺別邸、渉成園の初夏。三代將軍徳川家光から寄進された宣如上人の隠居所、枳殻邸とも名付けられた名園。印月池を囲む10,600坪の茶室と書院から成る13景は、江戸時代の京都寺社の栄華を伝えます。

渉外広報・IT委員会 須長利行

第1号議案 令和3年度事業報告承認の件：齋藤大介・副理事長（齋藤英次商店）、令和3年度決算関係書類承認の件：齋藤米蔵・副理事長（齋藤商店）監査報告：今井利明監事（今井）

第2号議案 令和4年度事業計画案承認の件：齋藤大介・副理事長、令和4年度収支予算案承認の件：齋藤米蔵・副理事長

第3号議案 令和4年度経費の賦課及び徴収方法決定の件：議長

第4号議案 令和4年度借入金の最高限度額及び1組合員に対する貸付金の最高限度額決定の件：議長

第5号議案 役員報酬額（理事・監事）承認の件：議長

以上満場一致で議案が可決された。

第6号議案 任期満了に伴う役員改選：議長

本年は役員改選期であり2月24日に開催された推薦会議において推薦された理事候補33名、監事候補2名が満場一致で承認された。

近藤豊・副理事長（ブシュー）の閉会の辞で総会は終了した。

【開会の辞】近藤勝・副理事長（美濃紙業） 「3年ぶりの対面総会を開催」



本日は大変お忙しい中、出席を頂き誠に有難うございます。昨年、一昨年と2年続けて緊急事態宣言中であつたので書面決議とさせて頂きましたが、今年は3年ぶりに対面による総会を開催することができました。この3年で古紙を

取り巻く環境は大きく変化してきました。古紙持ち去り禁止法令の制定や来年は当組合の設立60周年の年でもあります。本日は皆様方の慎重なご審議を頂けます様お願い申し上げまして第59回通常総会を開催させて頂きます。

【理事長挨拶】大久保信隆・理事長（大久保） 「持続可能な回収システムを

存続させるために適正な車間距離を」

皆様方にはご多用の中でコロナ禍の中にもかかわらず大勢の皆様にご出席を賜り有難うございます。

我が国の紙の生産量は年々減少しており、板紙だけが微増です。古紙業界を取り巻く環境は変革期を迎えていると思います。特に2021年から中国は固形廃棄物の輸入を全面禁止しました。昨年の期首の段階では古紙が余剰になると心配していましたが、ベトナムをはじめ東南アジアの各国で古紙の輸入が増え、国内の製紙会社が段原紙の輸出を増やし、為替が円安に振れたことで古紙の需給はタイトな状況になりました。期末にはロシアのウクライナへの侵攻が始まり紙の輸出量が増えています。上物古紙の発生が減少しており、製品の消費が増えていることで、全品種の古紙在庫が減少しており、仕入れたらすぐに出荷する様な状況が続いています。この1年はあらゆる機会に適正な車間距離を取ってもらう様に呼び掛けて皆さん方は応えて頂きました。その結果皆さん方は一定の収益が確保できたと思います。しかしながら皆さん方組合員の経営環境は厳しさを増しています。特に働き方改革による雇用問題や安全対策問題、従業員教育の充実、給与アップ、そして燃料代や電気代、番線代、運送費が値上がりしてコストアップに直面しています。持続的な古紙の回収システムを存続させるために関東地区委員会の製紙メーカーに古紙の標準価格の見直しを検討してもらっていますが回答はまだ頂いていません。本日の総会で議案の審議をスムーズに行って頂きたいと思っています。

総会後に第1回理事会が開催され新執行部として理事長、副理事長、専務理事が選任された。

＊

司会の齋藤米蔵・副理事長（齋藤商店）から新執行部として理事長・大久保信隆、副理事長・藤川達郎、梶野隆史、近藤勝、齋藤大介、近藤豊、朝倉行彦、齋藤米蔵の7名と専務理事は富所富男の合計9名が発表され、新理事長の大久保信隆・理事長が就任の挨拶を行った。その後栗原正雄・全国製紙原料商工組合連合会理事長が来賓の祝辞を述べ、公財古紙再生促進センター専務理事 川上正智氏が「中長期的な課題整理に向けて～Beyond 2024」をテーマに講演を行った。

**[新理事長挨拶] 大久保信隆・理事長 (大久保)
「古紙業界は永遠に不滅である」**



今年度第2回理事会で理事長職を拝命致しました。

また副理事長の7名と専務理事1名の執行部と理事24名の理事共に関東商組の組合活動を盛り立ててまいります。

日本は人口が減少しており、先日テスラのCEOのイーロン・マスク氏が日本は消滅すると発言していました。個人的には日本が消滅するはずはないと思っていますが、製紙産業が消滅することがない様にしていかねばならないと思います。

我々の組合は明治・大正・昭和に設立され、循環型社会において紙リサイクルの中で我々は

先頭を走っている所以我々の業界がなくなるはずがないと思っています。

かつて読賣巨人軍の長嶋は引退セレモニーで「我が巨人軍は永遠に不滅です」との名言を残しましたが、我が古紙業界も関東商組も不滅であるとの思いで今後も組合の事業を進めていく所存です。

課題が山積しておりITや通信販売の進展によって消費動向が大きく変化しています。文書管理が電子化され、新聞・雑誌・印刷物が減少しています。

関東地区の直納問屋115社が今後の事業展開をどの様に進めるべきかが任期中の課題と捉えています。

近年管理会社が指導を名目に発生元と我々の間に介在し、他地区からも関東地区に進出する同業者が増えています。

古紙回収の循環システムを無くさない様に製紙会社や古紙再生促進センターと共にサーキュラーエコノミー(循環型経済)を進める担い手とならねばならないので組合員の皆さまと一緒に考えて実践していく組合にしたいと思っています。

**[祝辞] 栗原正雄・全原連理事長 (栗原紙材)
「古紙の扱い量を増やして
海外の需要にも万全を期す」**



本日は第59回関東商組の通常総会が盛大に開催され、引き続いて大久保理事長が再任されました。

これから2年間で理事長として関東一円の古紙業界の政策にお力を頂くことになりました。また関東商組は全原連を支える中心的な団体でもあります。

今年度も大久保理事長とタッグを組んで全国古紙業界の発展のために力を尽くしていきたいと思っております。

来年度は60回目の総会を迎えますが大久保理事長が主催され盛大に開催されることを願っています。

今年も古紙を原料とする板紙は前年比で3%以上生産が増えています。従って古紙の市況はタイトな状況が続いていますが、国内の製紙会社への原料の供給とアジア諸国では日本の古紙を必要としている国々が多いことから我々の扱いを増やすと同時に事業に万全を期すためにも皆様方と共に古紙の掘り起こしを進めたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

【講演会】川上正智・(公財)古紙再生促進センター専務理事

「中長期的な課題整理に向けて

～ Beyond 2024 ～



本日は①将来イメージ作りヒント②内外のメガトレンド③中長期課題の整理に向けて④我が国の循環型経済・社会形成政策⑤留意すべき内外トピックス⑥個人的な思いをテーマに古紙センターの考え方や私が個人的に考えていることを皆様方にお伝えしたい。

国立社会保障・人口問題研究所が作成した

1965年から100年間の日本における人口動態で2045年には1億6百万人になると予測しているが、今朝の新聞で昨年度の出生数が過去最少を更新したと報道され、今年度に入っても出生率が上向く兆しがないとのことなので、既に人口減少のペースが更に加速していることが見て取れる。

① 将来イメージ作りのヒント

2021年の日本の人口は1億2600万人で古紙の回収量は1,845万トンでした。全国で約2,000ヤードが存在し以前は1ヤード1,500t～2,000tと言われていたが回収量/ヤード数で単純計算すると約769トン/月である。2045年の人口が1億600万人と予測されており2021年比で▲16%になっている。全国に1,700の自治体があってその内1,200が人口5万人以下である。その様な自治体では65歳以上の高齢者は減少する傾向にある。高齢になると体力が低下するので負担がかからない様な紙のリサイクル方法が必要になる。

世界の人口は2050年に約97億人、2100年には約108億人になると予測されている。その大部分がアジア(約52億人)とアフリカ(約19億人)である。RISIの資料では2020年のインドは板紙の消費量が7kg/1人で900万t/年が消費されているが人口が2050年には16.39億人と推定されており、経済発展でインドネシア並みに20kg/人になると仮定した場合1,800万トンの需要増が見込まれる。更に中国並みに50kg/人で仮定すると6,000万t/年の消費量が増える見込である。一方で中国の人口はピークアウトし高齢化が進むと推測されている。

2016年～2050年間の人口の増減と経済成長を比較するとベトナム、インド、バングラデッシュ、パキスタン、フィリピン、ナイジェリア、エジプトなどアフリカやアジア諸国が人口増に伴って高い経済成長率が見込まれ、タイ、ポーランド、ロシア、スペイン、イタリア、中

国、日本などは人口が減少し経済成長率が低く見込まれている。

世界の段原紙の消費量は2020年166百万トン、2030年224百万トン、2050年312百万トンで予測されている。一方古紙の消費量は2020年240百万トン、2030年304百万トン、2050年427百万トンと予測されている。東南アジアを中心に年率3%程度増加する見込みである。年率3%の伸びで計算すると2050年の時点では約40,000百万tを越えることになる。この予測に従えば段ボール・板紙の古紙はこの先30年間は増え続けることが見込まれる。

今年の春にRISIが2020年の世界の状況を発表した。回収23,981万t古紙消費24,081万t、輸出4,545万t、輸入4,582万t（回収率60%、利用率60%）であった。紙・板紙の消費量が約40,000万tなので約60%古紙が使用されていることになる。今後アジアで4,000万トンの板紙の生産設備が増設予定であるが使用する古紙は他の地域からの輸入は期待できないので域内で回収することになる。

② 内外のメガトレンド

紙のリサイクルを考えた時に（P）政治・規制、（E）経済・市場、（S）社会・環境、（T）技術などのキーワードを元に世の中の流れを整理して危機管理やビジネスチャンスを見極めたい。

③ 中長期的課題整理に向けて

古紙センターでは2024年に創立50周年を迎える。今後の2年間で中長期的の課題を整理して古紙問屋業界や製紙会社、自治体、消費者の方々に対して参考になる様なことをクローズアップして提示できる様にしたいと考えている。例えば2050年までの品種ごとの内需予測値から古紙の回収量をシュミレーションしたものを提示したい。

④ 我が国の循環型経済・社会形成政策

今年の4月から施行されたプラスチック資源循環促進法はプラスチックに代わる代替素材や再生可能なプラスチック素材など間接的に製紙会社や古紙問屋に影響が及ぶと考えられるので今後の状況を報告できる様にしたい。

⑤ 留意すべき内外トピック

EUでも段原紙の需要が堅調な伸びを期待されているが2021年末に廃棄物の域外への輸出に



講演会



講演会

関する新提案が採択され、廃棄物を減らし域内でのリサイクルを促進する拡大生産者責任制度（EPR）の要件を強化する方向に進み、効果的な分別システムによる古紙の品質改善が検討されている。

米国ではEPA（米国環境保護庁）が2021年
国家リサイクル戦略を策定。2030年までに米国
全体のリサイクル率を50%に引き上げ、地方自
治体の固形廃棄物リサイクルシステムを強化・
推進している。

ISRIは大手のブランドリーダーに声をかけて
紙のリサイクルと消費者ブランドを結び付けて
循環型経済を底上げするためパッケージや商品
設計の啓発を始めており日本でも参考にして雑
紙の利用促進につなげたい。

中国では2021年に採択した「第14次五ヶ年
計画」に基づき中国造紙協会が発表した「五ヶ
年計画と中長期的な開発プログラム」で固形廃
棄物輸入禁止に伴う原材料問題対策として①東
海岸に林業・パルプ・製紙の統合企業を展開②
自家植林を加速させ炭素吸収源の確保とバイオ
マスの促進③国内古紙の回収強化と海外古紙の
再生パルプでの利用④竹パルプの開発と林業道
路肺活補助⑤海外林業の開発発展への国際協力
を盛り込んでいる。過剰な生産設備投資を抑制
して2035年の原紙生産量を1億7千万トン以内
に抑える（1人当たり120kg/年になると予測）
ことを目標にしているが今後生産量が増加する
ことは間違いない。

日本国内では脱炭素の流れの中で大手日用品
メーカーや飲料メーカーが自分たちのサプライ
チェーンの中でCO₂の排出量を知りたがる傾向
が強くなっておりダンボール原紙や古紙のリサ
イクルでCO₂の排出量を把握する様な動きにな
っている。

⑥創立50周年に向けてこれから2年間で紙リ
サイクルを環境や経済、社会の側面から重要性

を遡及していくことが大切である。これから欧
州や北米が古紙リサイクルを域内で循環させて
いく場合に東南アジアの板紙生産量が増加して
古紙の供給はどこの国が供給するかではなく、
紙リサイクル大国である日本が東南アジア各国
に古紙の回収率を上げて循環させる様に指導す
べきである。

[講演会・閉会の辞] 朝倉行彦・副理事長（國光）



分かりやすい説明をして頂いた古紙センター
の川上専務理事に感謝申し上げます。

統計数字から内容の説明、私感と最後は自分
の気持ちを説明されたと思う。

関東商組として古紙センターとは共存共栄の
仲であり、関東商組もSDGsを目指して組合と
して具体的な活動を進めている。

本日は第59回通常総会が無事に終了して大久
保新理事長の下で32名の理事と監事2名が理事
長を支えることになった。来年は60周年であり
世の中が落ち着いて懇親会が開催できることを
期待しています。





総会会場



[会計報告] 齋藤米蔵・副理事長 (齋藤商店)



[議長] 藤川達郎・副理事長 (藤川紙業)



[監査報告] 今井利明・監事 (今井)

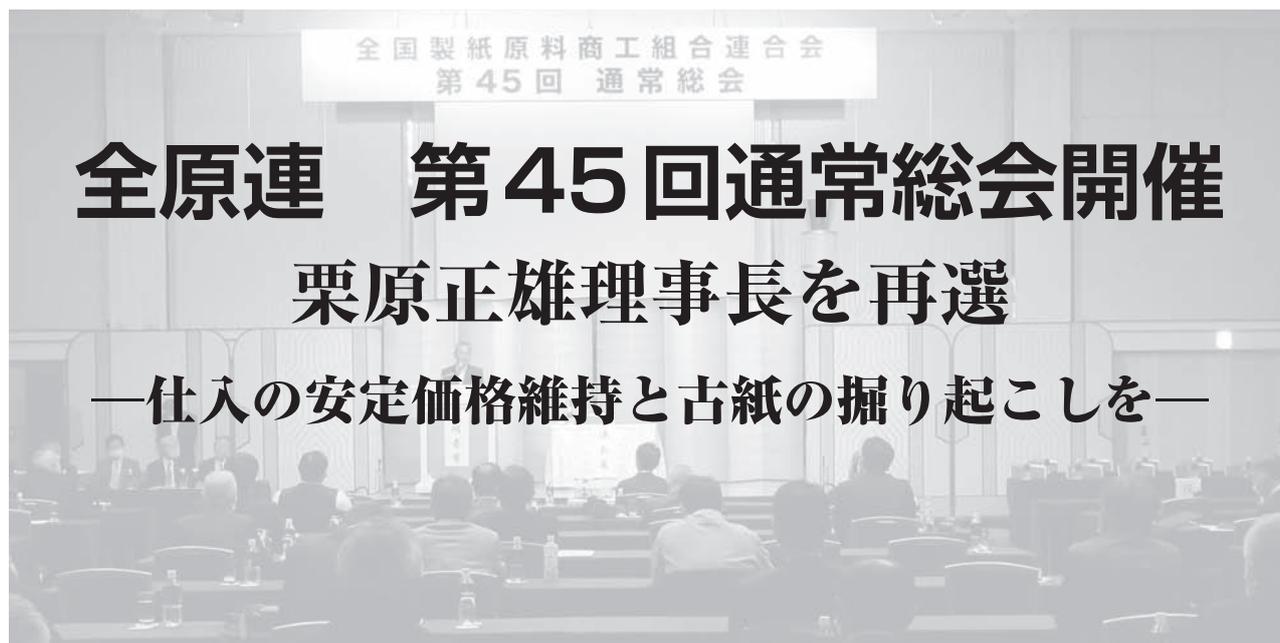


[第1号議案] 斎藤大介・副理事長 (斎藤英次商店)



[閉会の辞] 近藤豊・副理事長 (ブシュー)





全原連 第45回通常総会開催 栗原正雄理事長を再選

—仕入の安定価格維持と古紙の掘り起こしを—

全国製紙原料商工組合連合会（以下、全原連）は5月19日、大阪市内のホテルニューオータニ大阪で第45回通常総会を開催した。任期満了に伴う役員改選では、栗原正雄・理事長（関東製紙原料直納商工組合、以下、関東商組・栗原紙材）の再任が決定した。尚、総会前には中部製紙原料商工組合の石川喜一郎・理事長（石川マテリアル）が、雑がみ利用促進検討委員会の委員長として、同委員会の結果報告を行った（要旨は後述）。



〔司会進行〕 玉木康晴氏

総会の司会進行は、近畿製紙原料直納商工組合（以下、近畿商組）の玉木康晴・専務理事（玉木紙料）が務めた。開会の辞は、開催地を代表



矢倉義弘・近畿商組理事長

して近畿商組の矢倉義弘・理事長（大和紙料）が「多くの方が寄り集まって開催する総会は久しぶりに感じます。本来は昨年大阪で開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの変異株が出現し大阪でもかなりの数の患者が発生したため、急遽栗原理事長にお願いし、東京の組合事務所を拠点にweb形式で開催していただきました。それで今年は大阪で開催していますが、新型コロナウイルスの感染が収まらない中で多くの方にお集まりいただき、誠に有り難うございます。せっかくお集まりいただいたのですから、意義ある総会になるよう願っています」と述べた。

続いて、理事長の挨拶では、栗原正雄・理事

長が「本日はご多忙の中、全原連の総会に出席賜わり誠に有り難うございます。また、多くの来賓の皆様方、ようこそ総会にご出席いただき誠に有り難うございます。



栗原正雄・全原連理事長

昨年のわが国の古紙の市況は、一昨年に続いて大変タイトな状況が年間を通して継続し、古紙業界にとって恵まれた1年でした。今年に入ってもその流れは変わらず、昨年比べて販売価格も多少高くなっています。また、現在の輸出価格は国内価格に比べて相当高くなっていますが、それに踊らされることなく、安定的な仕入れ価格を維持していただいています。私の記憶では、安定的な仕入れ価格がこれほど長期間維持した時期は少なかったと思います。ぜひ今年1年間もこの状況が続くよう、全国の組合員の皆様方には引き続き安定価格帯の維持をお願い致します。

日本の景気も順調に推移しています。国内メーカーの原紙の輸出も順調で、段ボール原紙は毎月10万t超の輸出が続いています。従って、今年は国内メーカーの消費量の増加に対応するため、1tでも多くの古紙を回収できるよう、会員の皆様とともに古紙の掘り起こしをさらに進める必要があると考えています。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で大阪での総会開催が順延となりましたが、大阪の皆様方のご協力により、このような盛大な全原連総会が開催できますこと、心よりお礼申し上げます。これからも全原連の活動に温かいご

協力を賜わり、古紙業界の発展に皆様とともに努力したいと思います。今年も引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます」と述べた。



〔議長〕 谷藤佳孝氏

続いて司会者から、出席会員組合数8組合、内訳は本人出席7組合、委任状出席1組合で、組合員の過半数が出席しており、定款34条により通常総会が成立していることが報告された。議長選出は司会者一任となり、谷藤佳孝氏（近畿商組・谷藤紙業）が選出され議事が進行。



〔議案報告〕 實守敏訓氏



〔議案報告〕 齋藤米蔵氏

第1号議案の〔令和3年度事業報告承認の件〕は實守敏訓氏（近畿商組・實守紙業）、〔令和3年度決算関係書類承認の件〕は齋藤米蔵氏（関東商組・齋藤商店）、〔監査報告〕は平松邦明氏（関東商組・平松商店）、第2号議案の〔令和4年度事業計画（案）承認の件〕は奥田文稔氏（近畿商組・よろずや商店）、〔令和4年度収支予算（案）承認の件〕は齋藤米蔵氏、第3号議案の〔令和4年度経費の賦課及び徴収方法決定の件〕、第4号議案の〔役員報酬決定の件〕は議長が上程し、各議案とも拍手により承認された。



〔閉会の辞〕 仲清次郎氏

※

総会終了後の第一回理事会では、栗原正雄・理事長の再任が決定。副理事長は、矢倉義弘、石川喜一郎、大久保信隆（関東商組・大久保）、岩渕慶太（九州製紙原料直納商工組合・イワフチ）、菊池初彦（静岡県製紙原料商業組合・丸元紙業）が再任、上田晴健（東京都製紙原料協同組合・三弘紙業）が新任。専務理事は富所富男（関東商組）が再任となった。

栗原理事長は就任の挨拶に立ち、「再び理事長の重職を務めることになりました。あと2年間、引き続き全原連の皆様の温かいご支援のもとで、紙リサイクルのさらなる進展と、回収業界や製紙業界との協調体制のさらなる充実化を図り、環境の改善、そしてエネルギーの節減へと、我われ古紙業界の役割を果たしていく所存です」と述べ、会場は満場の拍手に包まれた。

続いて、令和3年秋の叙勲で旭日双光章を受けた矢倉義弘氏に対し、栗原理事長からお祝の花束が贈呈された。矢倉氏は「全原連、古紙センターの温かいご支援により、昨年11月3日文化の日に旭日双光章をいただきました。高齢ではありますが、皆様のお役に立てることがあればできる限りお手伝いしていきたいと考えています。本当にありがとうございました」と述べた。当日の出席者には、受章を記念して制作した矢倉氏の自叙伝『私の天職〈古紙リサイクル事業〉』が贈呈された。

最後に、中国地区製紙原料直納商工組合の小



〔監査報告〕 平松邦明氏



〔議案報告〕 奥田文稔氏

第5号議案の〔任期満了に伴う役員改選案承認の件〕では、指名推薦制で矢倉義弘氏を委員長とする全原連副理事長6名で構成された選考委員会により別室で審議され、理事64名、監事2名の被指名人全員が承認された。以上で議案審議が終了し議長が退席。

閉会の辞は仲清次郎氏（近畿商組・仲商店）が述べ、総会は滞りなく終了した。



〔次期総会案内〕小六信和氏

六信和理事長（明和製紙原料）が次期総会の案内に立ち、「まずは矢倉さん、おめでとうございます。このような叙勲受章者が増えることは業界全体として喜ばしい限りです」と祝意を伝えた後、「来年、久しぶりに中国地区で全原連総会

を開催させていただきます。思い起こせば10数年前に中国地区で開催した時は、広島県の呉で開催しました。翌日のエクスカッションは呉の岩本さんにお世話になり、矢倉さんや富澤の瀧本さんと一緒に江田島へ行ったことを思い出しています。来年の日程は5月25日木曜日で、できれば懇親会を開催して瀬戸内の小魚や美味しいお酒を飲み交わし、久しぶりに2次会を楽しみたいと思っています。もし、翌日のエクスカッションでゴルフができれば、石川遼プロが国内ツアーで初優勝した東兎が丘マリンヒルズゴルフクラブをリザーブしようと思っています。1年後はどうなるか分かりませんが、皆様をお迎えする準備はしておこうと思っています。ぜひ振るってのご参加をお待ちしています」と述べ、当日の予定は終了した。



栗原理事長から矢倉氏に叙勲お祝いの花束贈呈



表紙写真募集

「かんとう」表紙の写真投稿を募集します。

新年号（1月）
春号（4月）
夏号（7月）
秋号（10月）

KANTOU

写真

応募は本部事務局 中尾宛

Mail : nakao@zengenren.com

組合員(会社名)、氏名を添えてお申込下さい

雑がみ利用促進検討委員会の結果報告

全原連 雑がみ利用促進検討委員会
委員長 石川 喜一郎



石川喜一郎委員長

この結果報告は、雑がみ利用促進がなぜSDGsと結びついているのかを説明する機会になる。委員会のメンバーは、委員長の私と小六副委員長ほか総勢15名。全原連の富所専務理事、中部商組の伊藤専務理事にもご協力いただいた。

委員会の設置は、昨年中国の古紙輸入全面禁止で古紙の余剰、特にミックス古紙の余剰が懸念されていたことに始まる。そして昨年の総会で、SDGsを活用して雑がみを社会的にPRしてはどうかと提案した。雑がみは2006年に古紙の主要銘柄になったが、ごみ減量のためにできた銘柄と言っても過言ではない。よって〈雑がみの資源化=ごみ減量に貢献〉を確定させて古紙業界の社会貢献をPRするために、2021年7月30日に委員会を設置した。

■委員会で実施した調査は以下の5項目。

I 雑がみ混じりの雑誌古紙の組成調査（回収時点）

調査の目的は、雑誌古紙回収時における雑がみ混入率を各地域で実際に調査し、その結果から全国状況を把握すること。調査期間は令和3年10月4日から20日。(1)調査対象古紙は、①家庭から排出された雑誌・雑がみ②オフィスから排出された雑誌・オフィスペーパー(2)調査方法は約500kgをサンプリングして予め定めた区分に分別し、重量を測定する。(3)組成調査票に記入する品目は、「リサイクル可能品」として、雑誌、雑がみ・オフィスペーパー、紙製容器包装、新聞・折込チラシ、段ボール、飲料用パック(500ml以上)。「禁忌品」として、ビニールひも、紙製容器包装、飲料用パック(200ml以下)。これに重量(kg)、組成比率(%)を記入する。

この調査結果を見ると、最小値と最大値の差が大きく、地域差が相当あった。顕著な例として〔雑誌比率〕は最小値24.5%に対し最大値86.6%。平均値は53.0%であった。

過去の調査結果(三菱UFJリサーチ&コンサルティングの2013年発行の調査報告書)と比較すると、〔雑誌比率〕は減少(過去の調査結果67.1%⇒今回53.0%)。一方〔雑がみ比率〕は上昇(12.2%⇒31.5%)しており、その中の紙製

容器包装 (8.0% ⇒ 12.7%)、紙製容器包装以外 (4.1% ⇒ 18.7%) とも上昇。〔禁忌品比率〕も上昇 (2.8% ⇒ 3.7%) しており、その中の紙製容器包装 (2.2% ⇒ 2.6%)、紙製容器包装以外 (0.6% ⇒ 1.1%) とも上昇。

Ⅱ 輸出商社へのヒアリング⇒雑がみ輸出の見通しについて

2021年10月中旬から11月中旬にかけ実施。回答社数5社。質問事項は以下の通り。

(問1) 行政回収および集団回収で一般家庭から排出される「雑誌・雑がみ」レベルの品質のものを現在輸出していますか。(問2-A) 今後各国の輸入規制が厳しくなる中で「雑誌・雑がみ」は輸出可能ですが。また輸出ができなくなる場合は「雑誌・雑がみ」以外の品目を設定して輸出することは可能ですか。(問2-B) 可能な場合は雑がみの比率がどの程度まで許容範囲ですか。(例) 雑誌2割、雑がみ8割でも可能など。(問3) 今後の「雑誌・雑がみ」の輸出動向について自由意見があればお聞かせください。

その結果、「国内で回収している“雑がみ混じりの雑誌古紙”は、現在、JOMG、JMIXとして流通しており、当面余剰は問題にならない」という結論が導き出された。ただ、「各国の輸入規制が進む中、長期的には不透明」「禁忌品のさらなる選別強化は必要不可欠」という意見も聞かれた。

- ヒアリングの結果 (回答社数5社：当検討委員会輸出チームまとめ)
- 【結論】 国内で回収している「雑がみ混じりの雑誌古紙」は

**現在、JOMG、JMIXとして流通しており
当面余剰は問題にならない。**

<主な回答>

- ・各国の輸入規制強化が進む中、長期的には不透明だが当面は輸出可能
- ・雑がみ混入比率の許容範囲は一概にはいえない
- ・将来的には雑がみであっても輸入国間で取り合いになる可能性もある
- ・禁忌品のさらなる選別強化は必要不可欠となる
- ・国内白板メーカー向けと同等かそれ以上の品質が必要

Ⅲ 自治体へのアンケート調査

質問項目は分別収集、集団回収合わせて14項

目。調査対象は815自治体(人口カバー率86.1%)。回答数は691自治体。回答率84.8%。

アンケート調査の結果(抜粋)。

- (1) 雑がみ回収によるごみ減量の効果について
大幅に減量した5.2%、減量した53.8%、わずかに減量した15.8%。減量効果があったとする自治体は74%を超え、雑がみ回収がごみ減量に貢献したことがうかがえる。
- (2) 雑がみ回収に関する今後の取組について
積極的に拡大23.3%、現状維持70.2%で、両者を合わせると93%超となり、雑がみは今後も一定規模回収されていくことがうかがえる。
- (3) 紙マーク表示の紙製容器包装の位置づけ
すべて製紙原料になる、と回答した自治体が2割を超えたのを見ると、正しい情報を市民に伝え、品質向上を図るために、リーフレットの配布、講習会の開催などを行い、速やかに是正することが必要。

Ⅳ SDGs 専門家によるヒアリング⇒目指す方向性の提示

2021年12月9日全原連会議室で、石川委員長、小六チームリーダー、新井サブチームリーダーの3名が、ダイナックス都市環境研究所の橋本、北坂、小池の3氏から古紙業界におけるSDGsの取組状況についてヒアリングを受け、今後目指す方向性のイメージ(ゴールと手段)について提示を受けた。

ゴールは、古紙の量が減る中で量から質の時代に適応すること。また、業界の社会的信用を高め雑がみの利用を促進し、より一層SDGsの達成に寄与すること。

手段は、情報発信力を向上させ適切な発信を行うこと。そのためには、外部向けと内部向け、短期と長期に分けて整理する。また、経営者の意識向上を図ること。

この手段の具体的な内容等についての案をまとめてみた。まず、外部向け・短期では、古紙業界の活動・取組を可視化するために、自治体向けのリーフレットを作成し、古紙業界の社会

貢献（ごみ減量を推進）、紙マークの禁忌品問題などをPRする。また、ホームページを更新し、SDGsの取組ページなどを作成する。

また、内部向け・短期では、経営者の意識改革を行うためにSDGs研修会を実施する。SDGsは「論語と算盤」の論語の部分であり、研修会は経営革新委員会をお願いしたい。これ以外は、事項の「V 組合員へのSDGsへの意識及び実態調査」の結果を踏まえ検討する。

外部向け・長期（課題）では、将来雑がみ混じりの雑誌古紙が余剰したときの対策を検討する道筋がない。サーキュラーエコノミーでプラから紙への流れは、禁忌品B類の増加を招く。中には製紙原料に使うというメーカーもあるため、整理、問題提起が必要。また、古紙再生促進センターの品質基準との乖離が進んでおり、雑誌古紙に雑がみが混入していることも結構ある。これを業界として解決していくことを理事会で了承いただいた。

手段の具体的な内容等について（案）		
	外部向け	内部向け
短期	<ul style="list-style-type: none"> ■古紙業界の活動・取組の可視化 ○自治体向けリーフレットの作成 ・古紙業界の社会貢献をPR ⇒ごみ減量を推進 ・紙マークの禁忌品問題をPR ○ホームページの更新 ・SDGsの取組ページを作成 	<ul style="list-style-type: none"> ■経営者の意識改革 ○SDGs研修会の実施 ⇒SDGsは「論語と算盤」における論語を学ぶこと
長期（課題）	<ul style="list-style-type: none"> ○将来雑がみ混じりの雑誌古紙が余剰したときの対策を検討する道筋がない ○サーキュラーエコノミーでプラから紙への流れ⇒禁忌品B類の増加 ○古紙センター品質基準との乖離が進む 	<p>※上記以外は「組合員へのSDGsへの意識及び実態調査」の結果を踏まえ検討⇒次項3-V参照</p>

V 組合員へのSDGsへの意識及び実態調査

調査の目的は、組合員のSDGs活動の現状を検証し、今後古紙業界としてより一層SDGs活動を推進していく方策を検討するための基礎資料とすること。調査期間は今年1月27日から2月22日まで。対象は全原連加盟の696社。回答数は83社、回答率11.9%。

取組数の多かった17のゴールは、1位がNo12つくる責任つかう責任。取組例は、古紙商品化適格事業所として適正に業務を履行、ほか。2位がNo11住み続けられる街づくりを。取組例

は、無人常設回収ステーションの設置、ほか。3位がNo7エネルギーをみんなにそしてクリーンに。取組例は、太陽光パネルの設置、ほか。逆に取組数の少なかったのは、No2飢餓をゼロに、No1貧困をなくそう、No6安全な水とトイレを世界中に、など。回答の内容を見れば、よく分かってない回答が散見されるため、勉強していく必要がある。経営革新委員会の研修をぜひ進めていただきたい。

調査結果のまとめとして、「古紙リサイクルにおけるSDGsマッピング」を作成した。

〈正の影響の強化〉として、〈排出〉古紙リサイクルアドバイザーによる出前授業の実施⇒No4質の高い教育をみんなに。

〈負の影響の最小化〉では、〈排出〉分別排出の徹底⇒No12つかう責任。〈回収〉集団回収の推進、常設ステーション設置⇒No11住み続けられる街づくりを。〈選別加工〉古紙商品化適格事業所⇒No12つくる責任。〈出荷〉Jブランドラベル貼付⇒No12つくる責任。〈納品〉製紙業界へ⇒No12つかう責任つくる責任。

このようにすでに達成している目標もあるが、これ以外にも達成できるよう勉強してもらいたい。

■まとめ

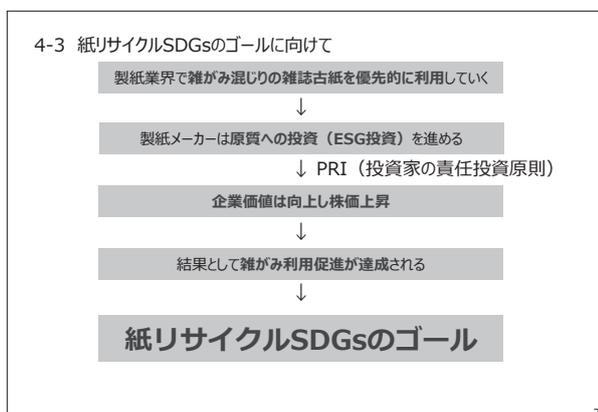
雑がみ回収の潜在的価値を顕在化し、社会的価値を確認してみる。まず、雑がみの推定回収量は古紙再生促進センター、環境省、委員会の調査結果、公表値等から求めた2018年度の725,837tを採用する。これに2019年度の環境省調査による1t当りごみ処理事業経費48,865円を乗ずると約355億円。東京ドーム（地上部の容積124万m³）に換算すると約2杯分になる。つまり雑がみという銘柄を作って回収したことによって、ごみ処理費用にして355億円、量では東京ドーム2杯分のごみ減量に貢献しているのである。

では、どのように自治体にPRするのか。自治体向けリーフレット（案）「古紙業界のSDGs」

のポイントは、雑がみの利用促進について、古紙業界のSDGsの取組の重要課題であることを伝える。また、紙製容器包装識別表示（マーク）の付いているものでも禁忌品があることを伝える。そして、SDGsのNo12つかう責任を明示し、分別排出の徹底を市民に啓発してもらうよう依頼する、など。

〈紙リサイクルSDGsのゴール〉までのシナリオは、「製紙業界で雑がみ混じりの雑誌古紙を優先的に利用⇒製紙メーカーは原質への投資（ESG投資）を進める⇒（投資家はPRI＝責任投資原則によってESGの課題を投資プロセスに組み込む）⇒企業価値向上、株価上昇⇒結果として雑がみ利用促進が達成⇒紙リサイクルSDGsのゴール」となる。

LCA（Life Cycle Assessment）から見た雑がみの利用促進について。カーボンニュートラルに向けて、企業自身が直接排出した温室効果ガス排出量が該当するScope1（化石燃料・天然ガス等）と間接的に排出したScope2（電力等）の管理が義務付けられているが、Scope1、Scope2以外に企業が間接的に排出するサプライチェーンでの温室効果ガス排出量としてScope3（製造、輸送、出張、通勤等）を管理、開示する動きが強まっている。古紙再生促進センターの「令和3年度地方自治体紙リサイクル施策調査報告書」では、可燃ごみに含まれる資源化できる紙の重量を年間約161万tと推計している。これをリサイクルするのが古紙業界の役割であり、同時にカーボンニュートラルへの貢献にもなる。



■最後に提案

161万tの雑がみを回収しても、新聞や雑誌が減っていくので古紙の総扱い量は減ることが予想できるが、製紙メーカーはバイオプラスチックも開発している。今年4月に施行されたプラスチック資源循環促進法は、国が環境配慮に関する指針を決め、指針に適合した製品であることを認定すると、専ら物である古紙同様、収集運搬・処分のための許可が不要になる。つまり、我われ古紙問屋がプラスチック資源を回収して製紙メーカーに納めることができる。

そこで「古紙リサイクルシステムを活かしてバイオマスプラスチックの回収で社会に貢献し製紙業界とともに古紙業界も発展する」「競争から共創の時代へ」と提案したい。古紙の量が減れば不可価値を高めるしかないので、利幅をいかに確保するかを考えなければならない。紙以外のペットボトルや廃プラなど、取り扱う品種を増やすことは古紙の減量をカバーする一つの手段と言えるのではないか。

古紙業界も儲けなければならない。儲けるといふ字は信者と書く。信者を増やすことはファンを増やすことであり、そのためには価値を高める必要がある。古紙業界として社会的価値を高めることができれば儲かる業界になる。

5 最後に提案

古紙リサイクルシステムを活かしてバイオマスプラスチックの回収で社会に貢献し製紙業界と共に古紙業界も発展する（競争→共創の時代へ）。

＜プラスチック資源循環法とは＞

- 1 製造段階で環境配慮設計指針を策定し指針に即した製品を国が認定していく
- 2 販売提供段階でリデュースの取組を行う
- 3 排出段階で家庭や事業所から排出されるプラスチック資源を広く回収リサイクルしていく

関東商組 理事会報告

令和3年度 第10回 理事会報告

開催：令和4年3月23日(水)

15:00～16:50

組合会議室

出席状況：出席…23名（理事21名、監事2名）

1. 古紙持ち去り関係

GPS 追跡調査実施状況

正規ルート1件。(2月理事会から本理事会の間)

2. 各支部市況報

記事省略

3. 段ボール古紙需給調整事業の実施状況

6月までの台湾向け段ボール古紙の出荷先が提示され、引き続きの協力をお願いした。

4. 通常総会当日の時間割及び役割分担

日時：令和4年5月25日(水) 14:30～

会場：アートホテル日暮里ラングウッド

来賓の招待はせず、懇親会なし。講演会終了後、会場にて弁当配布（持ち帰り）。

5. 事業承継に伴う組合新規加入

事業の分割、承継に伴い下記の通り脱退、加入が承認された。

・(株)北越マテリアル 令和4年3月31日 自由脱退

・北越パレット(株) 令和4年4月1日 加入

6. 各会議報告

(1) 総務財務委員会（3月17日開催）

決算の見立てと来年度の予算案を検討した。

(2) 正副理事長会（3月17日開催）

(3) 総合運営委員会（3月17日開催）

7. 近代化推進委員会報告

(1) 経営革新委員会（3月9日開催）

SDGsについて当組合では、「11 住み続けられるまちづくりを」「12 つくる責任つかう責任」「15 陸の豊かさを守ろう」の3項目に特化して取組むことになった。目標値については今後議論していく。

古紙輸出実績、段ボール原紙需給速報をもとに意見を交換した。

(2) 安全防災委員会

年間ポスター、春季リーフレット2種とも3月末配布予定。

日常作業に潜む危険な作業を再確認してほしい。

(3) 需給委員会（2月25日開催）

3月の国際マーケット事業は全品見送り。4月分は3月29日の委員会で決定する。2月は発生が非常に悪く、古紙在庫はどの地域もランニングとなっている。

基準価格見直しに関するお願いを関東地区委員会委員長へ提出した。組合員向けには健全経営に関するお願いを出した。

(4) 三紙会（3月22日開催）

	2月	
	前月比	前年比
段ボール	94.5%	96.9%
新聞	95.1%	95.3%
雑誌	94.5%	95.7%

(5) 渉外広報・IT委員会

・IT活用部会

・かんとく編集部会（3月15日開催）

かんとく216号の校正会議を行った、計画通り4月20日発行予定。

217号（夏号）の企画、特集記事の検討を行った、表紙については公募中。

8. その他

各種統計資料

1. 関東商組 32社古紙在庫月別報告書(2022年2月)
2. 全原連 各地区古紙在庫月別報告書(2022年2月)
3. 財務貿易統計 古紙輸出まとめ(2022年1月)
4. 日本製紙連合会 紙・板紙需給速報(2022年12月)
5. 関東5港(日立・千葉・東京・川崎・横浜)通関実績(2022年1月)

◎次回開催：令和4年4月20日(木) 15時～
場所 組合会議室

令和4年度 第1回 理事会報告

開催：令和4年4月20日(水)
15:00～16:30
アートホテル日暮里ラングウッド
朱雀の間

出席状況：出席…24名(理事22名、監事2名)

-
1. 古紙持ち去り関係
GPS追跡調査実施状況
正規ルート1件。(3月理事会から本理事会の間)
 2. 各支部市況報
記事省略
 3. 段ボール古紙需給調整事業の実施状況
6月までの台湾向け段ボール古紙の出荷先が提示され、引き続きの協力をお願いした。
 4. 第59期事業報告書(決算関係を除く)
決算関係を除いた第59期事業報告書が提示された。
 5. 集団回収感謝状贈呈団体の推薦
各支部の担当者は推薦団体を6月30日までに事務局への連絡をお願いした。
 6. 各会議報告
 - (1) 総務財務委員会(4月14日開催)
税金等計算前の決算の見立てを報告した。

- (2) 正副理事長会(3月17日開催)
 - (3) 総合運営委員会(3月17日開催)
7. 近代化推進委員会報告

- (1) 経営革新委員会(4月11日開催)
 - ・SDGsについて「11住み続けられるまちづくりを」「12つくる責任つかう責任」「15陸の豊かさを守ろう」の3項目に特化して取組むことが決定しているので目標値について今後議論してゆく。
 - ・古紙リサイクルアドバイザーの所属を個人から会社へ変更された。また、試験を6月4日・6月11日に予定している。
 - ・古紙輸出実績、段ボール原紙需給速報をもとに意見を交換した。
 - ・読売エコシェアリングについて
3年前までは会議の場に問屋が参加していたが、それ以降は参加していない。問屋が不在の中内容が決定している。そのため問屋の参加を申し入れる必要がある。各社の仕入量には計上されていない。
- (2) 安全防災委員会
年間ポスター、春季リーフレット2種とも発送完了。重大事故防止に役立ててほしい。
- (3) 需給委員会(3月29日開催)
4月の国際マーケット事業は全品見送り。5月分は4月27日の委員会で決定する。3月は発生が非常に悪く、古紙在庫はどの地域もランニングとなっている。仕入れ価格を上げても発生が増えないことを認識しコストを慎重に吸収する必要がある。
- (4) 三紙会(4月18日開催)

	3月	
	前月比	前年比
段ボール	116.2%	98.1%
新聞	112.4%	95.1%
雑誌	127.0%	97.0%

- (5) 渉外広報・IT委員会
 - ・IT活用部会

- ・ かんとう編集部会
かんとう 216 号が本日発行された。
217 号 (夏号) は総会の内容がメインになる予定。表紙の写真を引続き公募中。

8. その他

古紙持ち去り禁止立法の動き
立法化に向けて議連で検討している。

各種統計資料

- 1. 関東商組 32 社古紙在庫月別報告書 (2022 年 3 月)

- 2. 全原連 各地区古紙在庫月別報告書 (2022 年 3 月)
- 3. 財務貿易統計 古紙輸出まとめ (2022 年 2 月)
- 4. 関東 5 港 (日立・千葉・東京・川崎・横浜) 通関実績 (2022 年 2 月)

◎次回開催：令和 4 年 5 月 25 日 (水)

通常総会終了後

場所 アートホテル日暮里ラング
ウッド

省エネペーラー誕生
SW770 HEシリーズ
HIGH SPEED, HIGH PRESSURE
AND ENERGY SAVING

契約電力DOWN!!
消費電力
25%
以上削減!!
消費電力DOWN!!

株式会社 昭 和
S showa

本社 〒134-0091 東京都江戸川区船場 2 丁目 23 番 21 号
http://www.showa-press.co.jp 電話 03-3689-0303

WorkVision
Creating Value for The Future

お問い合わせ先
ビジネスソリューション営業第一部
営業担当：柿崎 貴信
TEL: 03-4233-0945 FAX: 03-5463-1138
*旧社名 東芝ソリューション販売株式会社
2019年7月1日より社名変更となりました。

システムは「所有」から「利用」へ!
リサイクルシステム
クラウド版リリース

シンプルで
即戦力!

セキュリティと
災害に強い!

サーバ購入
・管理不要!

二十一世紀の環境を守る。
信頼のパートナー。
古紙用ペーラー番線。

環境にやさしい
ワンダフル21世紀

- ・ 最良の品質
- ・ 豊富な在庫
- ・ 万全なサービス

株式会社 櫻 井
http://www.kk-sakurai.com/
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-13-12
TEL 03-3803-3511
FAX 03-3807-8153

標準値	コイル 1巻	コイル 1巻	1/2T- 1巻	1/4T- 1巻
φ 12 25%	50	100	500	1,000
φ 10 32%	50	100	500	1,000
φ 8 40%	50	100	500	1,000

ペーラー番線

最良の品質・防錆OK
ートラブル、ロスが少ない
50K・100K・500K・1000K

坂野興業株式会社

東京本社 TEL03-3718-7311 FAX03-3724-8170
浦安営業所 TEL0473-54-6531 FAX0473-51-5201
静岡営業所 TEL054-624-1101 FAX054-624-6704

三紙会報告

令和3年度 3月 定例会

日 時：令和4年3月22日(火)
15時30分～17時00分
場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室
幹 事：石橋 隆一・(株)坪野谷紙業
金井 大輔・(株)藤川紙業
報告者：後藤 和則・(株)高岡

【令和4年2月

裾物主要三品仕入実績報告 (35社)】

[段ボール] 前月比 94.5% 前年比 96.9%
[新聞] 前月比 95.1% 前年比 95.3%
[雑誌] 前月比 94.5% 前年比 95.7%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…9.41円、新聞…9.57円、
雑誌…3.77円

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 930 前月比 +60
[LBKP] \$ 価格 745～780 前月比 +50

NBKP・LBKPともに需給バランスは世界的にタイトな状況が続いている。海上輸送の遅れに加えて、洪水や寒波といった自然災害に起因するトラブルや定期メンテナンス等によるマシン停機があり、ユーザーの先行きへの警戒感に拍車をかけている。そのため、2月積価格は先月1月に引き続き、大幅な値上げとなった。

(2) 上物古紙市況報告

*全体の状況

カナダでの災害により供給が滞り、価格が上げ基調だったところにウクライナ侵攻によりロシアからのチップ供給が輸入停止となったため世界中で供給網が遮断、国内外販パルプは調整局面から一転価格高騰に転じている。

また洋紙各社が値上げを打ち出しており、仮需の可能性もあって上物の引き合いは強く、タイト感継続。コロナ禍で洋紙が減産となり発生が激減している中、パルプの高騰や回復需要、値上げの仮需要などで上物古紙の引き合いは急激に高まっている。

次回の三紙会は【4月18日(月)18時00分～浅草ビューホテル 25F】とする。活動内容の予定は以下の通り。

- 裾物三品仕入平均単価報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会活動報告

なお、定例会終了後、同所において定時総会を開催。

令和4年度 4月 定例会

日 時：令和4年4月18日(月)
18時00分～18時30分
場 所：浅草ビューホテル 25F 大輪
幹 事：相田 寛文・(株)丸興佐野錦一商店
木ノ下 和宏・(株)須賀
報告者：井出 一之・井出紙業(株)

【令和4年3月

裾物主要三品仕入実績報告 (35社)】

[段ボール] 前月比 116.2% 前年比 98.1%
[新聞] 前月比 112.4% 前年比 95.1%
[雑誌] 前月比 127.0% 前年比 97.0%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…9.77円、新聞…9.85円、
雑誌…3.85円

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 1,010 前月比 +80

[LBKP] \$ 価格 805～845 前月比 +60

NBKP・LBKPともタイトに推移している。海上輸送の混乱を含め、供給サイドの問題に改善の兆しが見られない。サプライヤーサイドのトラブルや自然災害等に起因する供給減はこれまでも発生していたが、特に南米地区大手サプライヤーのボイラートラブルなどトラブルが多発した2017年以降想定外の供給減が続いており、2017年から2021年までの合計は▲660万トンに達した。2022年に入ってから同様の状況が続いており、1月～3月では既に60万トン以上の供給減となっている。ロシアのウクライナ侵攻は、海上輸送の混乱に拍車をかける可能性があり、供給不安を中心とした需給バランスのギャップ解消には時間がかかると思われる。

(2) 上物古紙市況報告

*全体の状況

洋紙各社が値上げを打ち出した事による仮需とフィンランド製紙大手UPMのストライキによる輸入紙の減少で代替需要が発生し、印刷・情報用紙の払い出しが順調であったため、上物古紙にタイト感が出ている。

[家庭紙] 家庭紙においても製品値上げの影響で仮需が発生しており、製品在庫が捌けている。岳排迄にある程度製品を積むべくGWに稼働するメーカーもあり強含み。一方、印刷・製本はGWに止めることも多く、GW明けのタイト感が危惧される。

[白板] パルプ高騰で、表下に使用する上物古紙が引き続きタイト。また、円安で製品輸出も徐々に採算が合う状況になっており、ますます雑誌古紙の引き合いが高まる可能性がある。

●研究委員会：①令和4年3月度の新聞・チラシ重量調査結果の報告。

②三紙会名簿の配布

●広報委員会：かんとう夏号(7月発行) 三紙

会 tweet 執筆依頼

●会 計：令和4年度会費の振込依頼

次回の三紙会は【5月23日(月)15時30分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

○裾物三品仕入平均単価報告

○ブロック別仕入平均単価報告

○各委員会活動報告

令和4年度 5月 定例会

日 時：令和4年5月23日(月)

15時30分～17時00分

場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：高橋 徳行・(株)丸十商店

高山 友生・(有)北信紙業

報告者：高山 友生・(有)北信紙業

【令和4年4月

裾物主要三品仕入実績報告(35社)】

[段ボール] 前月比 97.7% 前年比 99.0%

[新聞] 前月比 93.7% 前年比 92.3%

[雑誌] 前月比 96.4% 前年比 96.3%

[総括] 営業日数が少ないこともあるが全体的に減少

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…10.15円、新聞…10.18円、雑誌…3.86円

[総括] 輸出向けの売値上昇に伴い仕入価格も上げ基調

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

報告なし。

(2) 上物市況報告

*全体の状況

①洋紙各社が値上げを打ち出した事による仮

需 ②世界的に洋紙から段原紙へ転抄している中で、コロナ回復需要に製品供給が間に合わない事による日本からの製品輸出 等の要因から上物古紙の引き合いが高まっている。

[家庭紙] コロナ規制明けで人流が拡大しており、イベントや旅行需要など徐々に回復傾向。一方で、産業古紙の発生減が顕著であり、タイト感が高まっている。

[白板] コロナ規制明けの国内需要に加え、円安進行で製品輸出も活況な状況であるが、雑誌古紙の発生が非常に悪くタイト感が強い。同時に産業古紙の発生減により表下に使用する

上物古紙もタイト感継続。家庭紙と共に益々引き合いが強くなると思われる。

- 財務委員会：裾物3品季節変動係数集計報告
- 研究委員会：新聞チラシ重量調査（6月実施）の協力依頼

次回の三紙会は【6月21日(火) 15時30分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

- 裾物三品仕入平均単価報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会活動報告



新聞雑誌選別、さらに革新。

紐切装置付選別コンベヤーライン

ヤードスペースに合わせ、自由にレイアウト。

営業品目

- 各種破袋装置
- 古紙梱包機投入用コンベヤー
- 空カン・空ビン選別コンベヤーライン
- 各種シュレッダー投入用コンベヤー
- 再生資源産業用各種コンベヤー
- 各種省力機械設計・制作



株式会社 拓己技研

〒444-0937 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3
TEL (0564)64-3692 FAX (0564)64-3693

デジタルロードセル式トラックスケール

高精度・低価格・短納期 5t～100t 各種計量管理システム

鎌長製衡株式会社

<http://www.kamacho.co.jp>

本社・工場	TEL(087)845-1111(代)	FAX(087)845-7442
東京支店	TEL(03)3243-2080(代)	FAX(03)3243-2081
大阪支店	TEL(06)6339-0131(代)	FAX(06)6339-0139
名古屋支店	TEL(052)586-1451(代)	FAX(052)586-1467
九州支店	TEL(092)281-5328(代)	FAX(092)281-3822
中四国支店	TEL(087)845-1140(代)	FAX(087)845-7442

第38期 三紙会総会開催される

日 時：令和4年4月18日(月) 18時～

会 場：浅草ビューホテル 25F 大輪

出 席：本人出席 22社

報告者：井出紙業(株) 井出 一之

去る4月18日 浅草ビューホテルにて、三紙会の令和3年度(第38期)定時総会が開催された。

(株)須賀 木ノ下和宏氏の司会・進行のもと、高橋副会長の開会の言葉、平松会長の挨拶に続き、(株)近藤商店 近藤國宏氏が満場一致で議長として選出され、議長の挨拶の後、議案の審議に入った。

第一号議案 各委員会活動報告

各委員会より令和3年度の活動報告がされ、満場一致で承認された。

第二号議案 会計報告

会計より令和3年度の収支決算報告、小池監事より会計監査報告がされ、満場一致で承認された。

第三号議案 各委員会次年度計画案

各委員会より令和4年度の活動計画が発表され、満場一致で承認された。

第四号議案 次年度収支予算案

会計より次年度の予算案が発表され、満場一致で承認された。

第五号議案 役員改選

平松会長より役員改選に伴う議案上程がされ、全ての役員の留任が満場一致で承認された。

上記の通り、全ての議案審議が終了し、議長退任の挨拶、富澤副会長の閉会の言葉をもって滞りなく総会は終了した。

総会後は、感染防止対策に十分配慮した中で懇親会を開催した。(株)須賀 木ノ下知宏氏の司会のもと、平松会長の挨拶の後、高橋副会長の乾杯の発声で幕が開き、富澤副会長の中締めまで、出席者一同、久しぶりに酌み交わす杯を手に楽しい時間を過ごした。



[総会・会長挨拶] 平松会長



[総会・開会の辞] 高橋副会長



[総会] 議長の近藤氏



[総会・閉会の辞] 富澤副会長



総会の模様



[懇親会・挨拶] 平松会長



[懇親会・乾杯] 富澤副会長



[懇親会・中締め] 高橋副会長



懇親会の模様



王子齋藤紙業株式会社
代表取締役社長
とよはる
野田 豊治



新社長 紹介

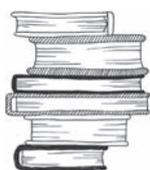


日頃より大変お世話になっております。
前任の諸隈令介社長の後任として、本年4月1日付けで社長に就任いたしました野田豊治です。

王子齋藤紙業には昨年6月末からの勤務ですので、経験も浅く、組合の皆様には顔馴染みが無いかと思いますが、今後少しでもお役に立てるよう努めていく所存ですので、よろしくお願いいたします。

私は昭和60年に王子製紙に入社し、最初の勤務地は北海道の江別工場でした。雪の減多に降らない静岡県で幼少時代を過ごしましたので、それまでは雪に憧れのようなものがありました。江別は特に雪の多いところで、雪国の厳しさ、大変さを実感しました。

ホワイトアウトで前が全く見えなくなることや、ドカ雪の後で除雪に苦労したことなどなど。



とは言っても、ダイヤモンドダストや霧氷の美しさは他ではなかなか体験できないものとして、とても印象に残っています。

その後は本社勤務となり、途中2度目の北海道勤務となる苫小牧工場勤務を挟んで、直近の王子グリーンリソース勤務に至るまで長年調達業務に携わってまいりました。調達業務とは言っても、古紙関係に携わったのは苫小牧で勤務していた一時期だけで、主に工場で使用する設備機械、燃料、薬品等の調達を行っていました。

また、2000年代初めに王子製紙ではRPF、廃プラスチック、廃材、廃タイヤを燃料とする新燃料ボイラーの設置を進めていましたが、その頃は廃棄物系の燃料調達に奔走していました。

循環型社会の構築が時代の要請となる中で、古紙リサイクルの重要性は今後も増していくと思いますが、足元では古紙不足が慢性化しており、発生物であるが故の需給バランスの難しさも実感しています。

浅学非才の身ではありますが、微力ながら業界の発展に尽くしていきたいと考えておりますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社久米川紙業
代表取締役社長
吉浦 亜矢子



この度、令和4年2月22日付で株式会社久米川紙業の代表取締役社長に就任いたしました、吉浦亜矢子と申します。甚だ微力ではございますが、社業の発展に誠心誠意努力してまいります。なお、前任の吉浦高志は取締役会長に就任し、今後も組合関係ではお世話になると思しますので、合わせてご報告させて頂くとともに、引き続き宜しくお願い申し上げます。

弊社は昭和40年に祖父が東村山市の久米川駅付近にて創業しました。商店街の中で母の営むお花屋さんの入り口の隣に台貫がある小さな建場だったのが記憶にあります。その後、昭和61年に駅前の整備が進み商売に支障が出てきたことや、事業拡大のため、現在の狭山市に事業所を移転し、古紙問屋として事業を行ってまいりました。

私自身は、先代である父の勧めにより19歳の時に台貫事務として入社し、経理事務、営業、管理業務を経て、41歳でこの度の社長交代となりました。21才の頃、地元の組合の青年部の立ち上げの際に組合関係にも顔を出すようになり、東京都資源回収事業協同組合青年部、関東製紙原料直納商工組合多摩支部会、埼玉県支部会といろいろな会に参加させて頂くようになりました。

業界の会合に参加する女性がまだまだ少ないこともあってか、いろいろな方からお声がけ頂き、組合のことからお仕事のいろはまで教えて頂きました。私のことはすぐに覚えて頂けるのに、こちらがなかなかお顔とお名前が一致せずに失礼したことは、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

子育てをしながら仕事をしているため、組合

新社長 紹介



活動も最後まで参加するのがなかなか難しいこともありました。それでも、これまで私が3人の子育てをしながらやってこられたのは、母の協力が欠かせません。好きな仕事を続けながら子育ても楽しめる環境は、本当に幸せなことだと思っています。また、家族の理解や支えにも助けられています。性格が似ている父とは、仕事でもぶつかることが多かったのですが、今でもよくぶつかります(笑)。それでも、なるべく任せて、見守ろうとしてくれているようになりました。

私の主人は、弊社で回収ドライバー、構内作業を経て現在営業職をしております。家庭でも仕事でも足りない部分をお互い補い合いながら二人三脚で頑張っています。20歳になった長男は、(株)三栄サービスさんで目下修行中ですが、この業界に入って来てくれました。下の子供たちも、本当はいつもママが家にいて欲しいのが本音のようですが、我慢しつつ応援してくれています。

そして、厳しいけど、いつも私の味方でいてくれた創業者の祖父は5月で98歳になりますが、私の就任を伝えるととても喜んでくれました。祖父の優しさや想いに応えられるように、また、これまで先代、先々代が積み上げてきたものをしっかり受け継ぎ、発展していけるように精一杯頑張りたいと考えております。

結びになりますが、私を支えてくれているすべての方たちに感謝の気持ちを忘れずに、社業、組合活動に取り組んでまいりたいと思っておりますので、変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。

三紙会 **TWEET** 私の平和



株式会社 高岡
後藤 和則

我が家は昨年の夏から 多頭飼育崩壊で保護された子犬の里親になりました。
夜泣き、トイレのしつけ等々昨年は眠れない

時期がありました。

そろそろ10ヵ月になりますが夜泣きもなくなりトイレもどうにか犬の行動で分かるようになりました。

子犬の保護に対して同居中の母は 反対していましたが、いざ目の前に子犬がいると誰よりも犬をあやしています。自分のデイサービスの予定も犬のために変更する始末です。

犬に芸を仕込むために 母が「お座り」・「お手」・「待て」など 大きな声で何回も犬に言っているのを聞いていると我が家は平和だなあといつも思います。

100回くらいは 連呼していますが……



新井紙材 株式会社
新井 遼一

2022年5月現在、終わる様子のないロシアによるウクライナ侵攻の映像を見るにつけ、ガレキの山と化した都市における廃棄物処理を考えてしまいます。まったくもって非生産的な廃棄物を大量に出すような行いは、資源循環や脱炭素に努力している業界、排出企業、自治体関係者からすると心外でしょう。ガレキ除去や救助導線確立に日本からも資金拠出が行われたようですが、JICAによると元々ウクライナではリサイクル率が数%で、年間約1千万トン



写真-Oleksandr Ratushniak, UNDP Ukraine

が減量化もされず埋め立てられているそうです。今回の戦争による災害廃棄物も埋め立てられ、ウクライナの美しい自然が侵害されてしまうのでしょうか。



株式会社 大久保
福浦 秀樹

我が家は比較的平和だと思います。

- ①家のあちらこちらに昔からの写真が飾ってあり、妻はイラっとしてもそれらの写真をみる

- と自然と機嫌が直るみたい。
- ②私は比較的綺麗好きで毎日の掃除機かけや洗い物を行ってしまうため、妻は空いた時間で趣味の多肉植物栽培ができ、いつも機嫌がよい。
- ③私は食べ物の好き嫌いが多いため、妻はバランスを考える必要がなく機嫌がよい。
- ④私は夜寝るのがやたら早いため、なんだかいつも機嫌がよい。

等々

私が思う我が家の平和の理由はズバリ「いつも妻の機嫌がよいから！」(;´ω`)チーン



栗原紙材 株式会社
佐々木 健

「私の平和=幸せ」と考えています。その為には「健康でいること」が必要です。健康寿命80年と考えたら私も折返しに来ました。私の実家

は経済的には平凡な家庭です。ただし両親が内科的健康です。もし私が幼少期に両親が病気ばかりしていたら、出費増、収入減でした。そうなっていたら進学や就職も現在とは違っていたと思います。以前メディアで「親ガチャ」が話題となっておりました。経済的、容姿、その他、贅沢を言ったら際限がありません。しかし私は両親が内科的健康に産んでくれた事には、本当に感謝しております。今後も「平和=幸せ」でいる為に健康に配慮します。



私は、2013年と2015年の2回、ドラッカー塾に学びました。多くのことを学び、学んだことを実践することを約束する塾です。このままで業界は大丈夫なのかと思います。「古紙業界は永遠に不滅である」に異論をするつもりはありません。永遠に不滅のために自分の考えを述べさせていただきます。

【変化は常に非顧客の世界で始まる】

「われわれは外の世界を知らない。たとえ業界リーダーの地位を占めても、同種の財やサービスを購入している人たちの過半は自社の顧客ではない。」

自社と自業界から変化が始まることはありません。変化のほとんどは、既存の顧客、市場、製品、技術の外で起こっています。業界リーダーに成長しても顕在市場の占有率は3割程度。さらに市場の外側（潜在市場）は顕在市場よりも大きい。自社と自業界に比べて、とても大きい非顧客の世界があることを認めます。その大きな世界から変化が押し寄せてきます。相対的に小さな自社と自業界は変化に飲み込まれてしまいます。

経営者は、自社と自業界の外で起きている変化を知るために、多くの時間を社外で過ごすように努めます。変化を乗り切る唯一の方法が、自社と自業界が変化を起こす側に、その先頭に立って変化を起こす側になることです。

「自らの力で変化は制御できない。自らできるのは変化の先頭に立つことだけである。」

【急速な変化に対応するには、権限の委譲と体系的廃棄が必要となる】

「長い航海を続けてきた船は、船底に付着した貝を洗い落とす。さもなければ、スピードは落ち、機動力は失われる。」

古紙（商品）、古紙回収業務、古紙のリサイクルシステムを、常時、見直します。多少の改善では、外の変化に適応できないかもしれません。その場合は、根本からの見直しが必要です。船底に付着した貝は、すでに陳腐化した商品、サービス、プロセスのことです。あらゆるものが、出来上がった途端に陳腐化を始めていきます。そして、明日を切り開くべき有能な人材がそこに縛り付けられます。ドラッカーは、こうした陳腐化を防ぐためには、まず廃棄せよと言います。廃棄することで変化に対応する、人、物、金を使うことができます。

変化は常態になっています。毎年、陳腐化したものを廃棄して何か新しいことを行うことを体系的廃棄と言います。経営者は、廃棄と新しい挑戦を繰り返すことができる組織を作ります。必要とするのは権限の委譲です。社員が自律して廃棄と新しい挑戦を行う組織を作ります。体系的廃棄には勇気が必要です。経営者が一人で立ち向かうのではなく、組織で行うことが勇気になります。

「自ら未来をつくることにはリスクがともなう。しかし、自ら未来をつくらうとしないことのほうがリスクは大きい。」

（編集人 斎藤大介）

暑中お見舞い申し上げます



令和4年7月 (アイウエオ順)

<p>新井紙材 株式会社</p> <p>代表取締役 新井 重雄</p> <p>東京都港区麻布十番2-7-1 TEL 03-3408-5862</p>	<p>王子浮間古紙センター 株式会社</p> <p>代表取締役社長 野田 豊治</p> <p>東京都北区浮間5-11-7 TEL 03-3967-6236</p>	<p>株式会社 金子商事</p> <p>代表取締役 金子 孝</p> <p>埼玉県所沢市南永井767-5 TEL 04-2944-4097</p>
<p>株式会社 新井商店</p> <p>代表取締役会長 新井 勝夫 代表取締役社長 新井 重樹</p> <p>東京都台東区根岸5-14-13 TEL 03-3873-9111</p>	<p>王子斎藤紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 野田 豊治</p> <p>東京都新宿区新宿1-34-8 TEL 03-3226-6611(代)</p>	<p>株式会社 木下</p> <p>代表取締役社長 木下 一善</p> <p>神奈川県川崎市幸区戸手4-12-18 TEL 044-544-5611</p>
<p>株式会社 育峯紙業</p> <p>代表取締役社長 毛塚 孝男</p> <p>茨城県古河市小堤315-14 TEL 0280-98-2632 FAX 0280-98-2635</p>	<p>株式会社 大久保</p> <p>代表取締役会長 大久保 信隆 代表取締役社長 大久保 薫</p> <p>東京都荒川区東日暮里1-40-5 TEL 03-3891-1188(代)</p>	<p>株式会社 木場リサイクル</p> <p>代表取締役社長 新井 英希</p> <p>東京都江東区塩浜2-14-2 TEL 03-5665-8088</p>
<p>市川紙原 株式会社</p> <p>代表取締役社長 栗原 正幸</p> <p>千葉県市川市平田1-20-11 TEL 047-322-3301</p>	<p>大村紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 大村 直紀</p> <p>埼玉県春日部市新宿新田14 TEL 048-718-0202</p>	<p>株式会社 共益商会</p> <p>代表取締役社長 赤染 マリリン</p> <p>東京都品川区南大井6-8-11 TEL 03-3763-9431</p>
<p>株式会社 市川商店</p> <p>代表取締役 市川 哲也</p> <p>東京都練馬区早宮3-12-18 TEL 03-3992-6136 FAX 03-3992-6137</p>	<p>株式会社 海原</p> <p>代表取締役社長 海原 健二</p> <p>群馬県館林市新宿1-9-34 TEL 0276-73-0047</p>	<p>株式会社 工藤商店</p> <p>代表取締役社長 工藤 裕樹</p> <p>東京都板橋区前野町4-40-18 TEL 03-3965-5101</p>
<p>株式会社 今井</p> <p>代表取締役社長 今井 利明</p> <p>埼玉県さいたま市浦和区 針ヶ谷1-1-14 TEL 048-831-5468</p>	<p>株式会社 梶谷商事</p> <p>代表取締役社長 梶野 隆史</p> <p>東京都杉並区堀ノ内3-13-3 TEL 03-3315-4411</p>	<p>栗原紙材 株式会社</p> <p>代表取締役会長 栗原 正雄 代表取締役社長 栗原 護</p> <p>東京都荒川区東日暮里1-27-9 TEL 03-3806-1751</p>
<p>ウブカタ資源 株式会社</p> <p>代表取締役 金子 真澄</p> <p>群馬県沼田市屋形原町2113 TEL 0278-22-5555</p>	<p>株式会社 金澤紙業</p> <p>代表取締役社長 金澤 基彦</p> <p>神奈川県藤沢市白旗4-2810 TEL 0466-81-0865</p>	<p>株式会社 グリーン</p> <p>代表取締役 斎藤 浩二</p> <p>千葉県松戸市紙敷879 TEL 047-391-1588</p>

暑中お見舞い申し上げます



令和4年7月 (アイウエオ順)

<p>株式会社 久米川紙業</p> <p>代表取締役 吉浦 亜矢子</p> <p>東京都東村山市廻田町1-18-91 TEL 042-391-4113</p>	<p>有限会社 斉藤宏商店</p> <p>代表取締役 齋藤 久雄</p> <p>群馬県高崎市柴崎町1175 TEL 027-352-6633</p>	<p>東京紙業 株式会社</p> <p>代表取締役 赤澤 満</p> <p>東京都中央区八丁堀1-8-6 TEL 03-5540-6141</p>
<p>株式会社 小池商店</p> <p>代表取締役 小池 茂男</p> <p>東京都新宿区新宿1-20-2 TEL 03-3354-9321(代)</p>	<p>株式会社 佐久間</p> <p>代表取締役社長 佐久間 仁宣</p> <p>千葉県四街道市四街道1544-2 TEL 043-420-6501</p>	<p>株式会社 富澤</p> <p>代表取締役社長 富澤 進一</p> <p>埼玉県川口市元郷3-21-31 TEL 048-227-3098 FAX 048-226-2044</p>
<p>株式会社 國光</p> <p>代表取締役社長 朝倉 行彦</p> <p>東京都台東区東上野1-28-12 TEL 03-5816-7055</p>	<p>三弘紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 上田 晴健</p> <p>東京都文京区本郷1-30-17 TEL 03-3816-1171(代)</p>	<p>株式会社 中商ホールディングス</p> <p>代表取締役 中上 剛</p> <p>福島県白河市白坂鶴子山66番地1/2F TEL 0248-28-2942</p>
<p>株式会社 近藤商店</p> <p>代表取締役社長 近藤 國宏</p> <p>東京都台東区元浅草4-1-3 TEL 03-3843-3866 FAX 03-3843-3867</p>	<p>株式会社 下田商店</p> <p>代表取締役会長 土方 十四江 代表取締役社長 土方 道明</p> <p>東京都日野市万願寺2-35-6 TEL 042-583-0753</p>	<p>株式会社 中田</p> <p>代表取締役社長 中田 敏夫</p> <p>東京都渋谷区恵比寿西2-6-6 TEL 03-3461-5910</p>
<p>株式会社 齋藤英次商店</p> <p>代表取締役 齋藤 大介</p> <p>千葉県柏市柏6-1-1 TEL 04-7186-6701</p>	<p>株式会社 須賀</p> <p>代表取締役 須賀 清文</p> <p>東京都荒川区東日暮里2-28-11 TEL 03-3891-6224</p>	<p>永田紙業 株式会社</p> <p>取締役会長 永田 博太郎 取締役社長 永田 耕太郎</p> <p>埼玉県深谷市長在家198 TEL 048-583-2141</p>
<p>株式会社 斉藤久七商店</p> <p>代表取締役 斉藤 岳二</p> <p>東京都荒川区東日暮里4-14-2 TEL 03-3806-2897</p>	<p>株式会社 タンザワ</p> <p>代表取締役 中村 幸司</p> <p>神奈川県秦野市曾屋357 TEL 0463-81-1010</p>	<p>株式会社 ナコジ</p> <p>代表取締役社長 辻 昭彦</p> <p>東京都千代田区神田錦町3-13-7 TEL 03-5280-3710</p>
<p>株式会社 齋藤商店</p> <p>代表取締役社長 齋藤 米藏</p> <p>東京都千代田区神田神保町1-46 TEL 03-3293-7701(代)</p>	<p>株式会社 坪野谷紙業</p> <p>代表取締役 坪野谷 悟輝</p> <p>栃木県下野市柴1-4 TEL 0285-44-5005</p>	<p>有限会社 根本商店</p> <p>代表取締役 根本 祐一</p> <p>日上市平和町1-4-11 TEL 0294-21-2068</p>

暑中お見舞い申し上げます



令和4年7月 (アイウエオ順)

<p>株式会社 平松商店</p> <p>代表取締役 平松 邦明</p> <p>東京都渋谷区幡ヶ谷2-42-5 TEL 03-3378-5631</p>	<p>松岡紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 佐藤 元彦</p> <p>静岡県富士市蓼原110 TEL 0545-63-1212</p>	<p>むさし野紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 安立 博信</p> <p>埼玉県川越市大字下広谷404-1 TEL 049-239-3456</p>
<p>株式会社 藤川紙業</p> <p>代表取締役 藤川 達郎</p> <p>東京都荒川区西日暮里2-32-20 TEL 03-3807-9347</p>	<p>株式会社 丸栄商店</p> <p>代表取締役 金井 篤史</p> <p>茨城県古河市尾崎11-2 TEL 0280-76-2690</p>	<p>株式会社 村松紙業</p> <p>代表取締役 村松 修</p> <p>神奈川県横須賀市舟倉2-2-8 TEL 046-835-8562</p>
<p>株式会社 ブシュー</p> <p>代表取締役 近藤 豊</p> <p>埼玉県新座市野火止1-13-41 TEL 048-479-7578</p>	<p>株式会社 丸興佐野錦一商店</p> <p>代表取締役会長 佐野 一 代表取締役社長 相田 寛文</p> <p>静岡県富士市五貫島546 TEL 0545-65-6277</p>	<p>森田紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 森田 臣</p> <p>東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2113 TEL 042-557-0864</p>
<p>株式会社 二見</p> <p>代表取締役社長 須長 勇太</p> <p>神奈川県小田原市中町3-13-22 TEL 0465-23-3125</p>	<p>株式会社 丸十商店</p> <p>代表取締役 高橋 德行</p> <p>東京都足立区本木2-10-1 TEL 03-3849-7201</p>	<p>株式会社 山 博</p> <p>代表取締役 山室 新太郎</p> <p>東京都台東区元浅草3-8-4 TEL 03-3845-2828</p>
<p>北越パレット 株式会社</p> <p>代表取締役 武川 和義</p> <p>千葉県市川市塩浜3-14-1 TEL 047-397-3115</p>	<p>株式会社 水 越</p> <p>代表取締役 水越 謙太郎</p> <p>〒316-0036 茨城県日立市鮎川町2-1-35 TEL 0294-36-2545 FAX 0294-35-8121 http://www.mizukoshi-re.co.jp/</p>	<p>株式会社 山 室</p> <p>代表取締役社長 畑 純一</p> <p>東京都台東区元浅草2-2-15 TEL 03-3844-8191</p>
<p>株式会社 もっかいトラスト</p> <p>代表取締役社長 長谷川 裕一</p> <p>埼玉県春日部市南栄町15-9 TEL 048-754-6298</p>	<p>皆川商事 株式会社</p> <p>代表取締役社長 皆川 三彦</p> <p>東京都板橋区舟渡1-9-11 TEL 03-3968-2427</p>	<p>株式会社 和 光</p> <p>代表取締役 齋藤 秀樹</p> <p>東京都渋谷区幡ヶ谷3-48-7 TEL 03-3377-3714</p>
<p>株式会社 増田商店</p> <p>代表取締役 増田 唯之 専務取締役 増田 悦宏</p> <p>東京都葛飾区立石2-23-17 TEL 03-3694-8824</p>	<p>美濃紙業 株式会社</p> <p>代表取締役会長 近藤 勝 代表取締役社長 近藤 行輝</p> <p>東京都足立区千住東2-23-3 TEL 03-3882-4922</p>	

まぜないで!

ロウ引き段ボール

特徴1

一般的なダンボールより
色が濃い(濃い茶色)

特徴2

触ると
ロウ(蠟)が付く

ロウ引き
ダンボール

一般的な
ダンボール

リサイクル できません!!

※デザインは
参考です。

特徴3

輸入品のフルーツや水産加工品の段ボール
に使われていることがある(防水のため)

みほん
例

チリ産レモン 輸入ブドウ 輸入ブロッコリー アジア産 冷凍エビ

アジア産 冷凍魚 東南アジア産 苗木 などを使用されていることがある

ロウ引き段ボールは1年中出回っていますが、特に5月から11月にかけては、
輸入果物の梱包として多く出回ります。

※デザインは参考です。



ロウ引き段ボールは製紙原料ではありません。



関東製紙原料直納商工組合

令和4年度

点 行動不安 過 自分ほ 憎 眞 ひ



命を守れ!



全国製紙原料商工組合連合会